令和 <mark>7</mark> 年度 **事務事業マネジメントシート**

	4	令和	7	年度 事	事務事業マ	ネジメント	トシート								作成	日 令和	7 年	7	月 1	日作	成
							担当課 総合政策課						(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
事	務事業名	総合	振興計	画策定、進行管	策定、進行管理業務				政策推進グループ				r			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
						担当G	会計		項	目	備考	1	活動指標(実施状況)	単位	(実績)	(実績)	(実績)				
± +	づくりプラン	/ 1-	/ /元目	お歌へ書見しし	:もに歩む「ムク	ゲーのわい祭	予算科目	1	2	1	4	ИП 3	┢			済	済	済			
	**本目標)	1/12	営	内政/川氏ここ	. もに少む「ムシ	> 」 りない 腔	1 37 41 H	·····	<i>-</i>	-			ア	策定状況	済	 済	済	済 済			
(4	2 个 口 1示 /	興	<u>—</u>				-						-				済				
(個	別 目 標)	計 1	効率的	的で質の高い行	主な費目	報酬、	、委託	委託料		イ	進行管理	済	<u>済</u> 済	済	済						
	·																済 (口畑)	/ [] LIII)	/ II TIE)	/ [] LIII()	
(施 策)	系 2	行政約	組織の効率化		総合振興計画			,	成果指標(成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
		71							対象	Ī	L			(実績)	(実績)	(実績)					
(其	本目標)	総											ア								
(4		合											Ĺ								
(施 策)	戦					事業期間			年度~			1								
(<i>ne</i> / /	略					事未夠问			年度		(年間)									
(1)	総事業費の	₩:4 %	単位	4年度	5年度	6年度	7年度		8年月	8年度		9年度		/ 萩体			正学		並 年		
(1)	秘争未負の	1年1多		(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予	算) (記	計画・	予算)	(計画	画・予算)	(4)評価		所管課による評価						
年 .	財国県支	出金	千円				2, 6														
間事	- イ//M/特	定財源	千円											世界の一 ブ							
ト業	表表 一般財産		千円	0	0	0			7	, 960			有効	・市民のニーズ・事業の効果							
- 質	事業費計	(A)	千円	0	0				7, 960					・政策との整合性	市の最上位計画であり施策の根本をなすものである。この						
ル人	所要人員(人	0.200	0. 200	0.200	0. 20	_		. 200		0. 200	性	事業を廃止の影響			毎年実施記				
コ件	人件費概算		千円	1, 120	1, 120	1, 120	1, 12	_		, 120		0.200	計	・類似事業との連携	行うことにより、効率よい市政運営につなげている。						
ス一質		(B)	千円	1, 120	1, 120	1, 120	3, 76	_		, 120			- 1曲	・公平性							
(0) T	(A) + ***********************************	(D)	一十门	1, 120	1, 120	1, 120	3, 70	00	9	,080			4								
業目的 事業内	市の最上位計画である総合振興計画の削期基本計画を東定することにより市の将来都市像の美現を目指す。 令和3年度に策定した第2次志布志市総合振興計画後期基本計画について進行管理と満足度調査を実施。												効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携							る。
容開始要性	開 始 市の最上位計画である志布志市総合振興計画策定し、3年間の実施計画を進めながら目指す将来像向けて取 経 組む必要がある。 緯													数値目標目指す状況実現性	目標:令和8年度に後期基本計画の各成果目標値を達成す						
実施状況	施 年度始めに前年度の振り返りを行い、3年間の実施計画を策定している。												及評価	・情勢、環境の変化 ・事業期間	వే.						
成果													改革改	拡充	現状維持	持	改善		効率化		廃止終了
課題	加速する人口減少や急増する外国人に対する施策など、現状の課題に加えて次の10年間において市民の幸福度を高めるような新たな視点を持った計画が求められる。											以善 案									

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 総合政策課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 地域力創造アドバイザー (外部専門家) 招致事業 担当G 政策推准グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 会計 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 2 20 20 まちづくりプラン <産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅 1 1 4 10 ア調査、MT 口 (基本目標) 力あふれるにぎわいのまち 19 (個別目標) 地域資源を生かした観光のまち 主な費目 委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (施 策) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 観光資源の整備、活用 (実績) (実績) (実績) 対象 地域力創造アドバイザー ア活用に至った資産の数 件 (基本目標) 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる 年度~ R 5 _ (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度(2年間) R 6 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 市民のニーズ 業内. | 本| 訳 | 一般財源 千円 5,055 5,600 5,600 事業の効果 志布志市観光振興計画における遊休資産の活用を根拠とし 事業費計 千円 0 5, 055 5, 600 5,600 0 (A) て取り組んでおり、市内には遊休資産と呼ばれるような資 ・政策との整合性 産が20件以上存在し、当該資産を活用し交流人口や関係人 人 所要人員(年間) 事業を廃止の影響 類似事業との連携 口の構築に向けて進めていくことは有効である。 ス 費 人件費概算 (B) 千円 0 0 0 0 0 公平性 (A) + (B) 千円 0 5, 055 5 600 5 600 0 (2)事業概要 地域資源を活用した本市の魅力や価値の向上に取組み、地域力を高めるために外部専門家(地域力創造アド 事業効果向上 バイザー)制度を活用し、アドバイザーと一体となって取り組むことで新たな交流人口や関係人口の創出、 · 事業費削減 令和6年度は資産管理や運用においてどのような形で取り 移住定住、地域経済の循環に繋げることを目的とする。 的 事務の効率化 組んでいくか詰めの段階であることから様々な可能性を精 査しながら財政負担や効率性についても議論を行ってい · 費用対効果 事 財政負担の必要性 総務省の所管する地域人材ネット登録者の中から外部専門家を招致し、地域活性化の取組に関する指導や助 ・関係者との連携 言を受けながら地域独自の魅力や価値の向上に向けて取組む。 容 市民から本市の地域資源の活用を図り、地域活性化につなげたいとの提案があった。その中で総務省の外部 必治 専門家 (地域力創造アドバイザー) 制度を利用することで、専門家のノウハウを活かし地域力を高めること 要始 専門家 (地域)別面 「アハイッー」 前後を利用することで、 中国 ができる。また、市内には多くの地域資源があり、有効活用することで交流人口や関係人口、地域経済の循性 緯 環に効果的である。 達 • 数値目標 目指す状況 現状評価できる環境ではないことから今後の実績を考慮し • 実現性 たうえで評価を実施予定 評・情勢、環境の変化 令和5年度は市内遊休資産の洗い出しが主な業務であり、コロナ禍後の社会情勢の変化を見据え新たな交流 価・事業期間 状 人口・関係人口構築のきっかけとなるような資源の選定を行う。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |市内20施設以上の洗い出し、シミュレーションを行いながら有効な資産の仕分けを完了させることができ 果 書現在のところ特段の改善案なし R 6 は具体的な資産の管理、運用形態の座組、資金調達方法について先進事例等も含めながら調査をしてい 題 く。

令和 7 年度 **事務事業マネジメントシート**

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3) 指標の推移 7年度 担当課 総合政策課 4年度 5年度 6年度 8年度 9年度 事務事業名 (目標) 多世代交流施設整備事業 担当G 政策推准グループ (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 会計 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 2 10 15 15 まちづくりプラン <保健・医療・福祉>生き生きと笑顔で暮らせる 1 1 4 5 ア施設整備PR活動 口 (基本目標) 3 安心して子どもを産み育てることができるまち (個別目標) 主な費目 委託料、工事請負費 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (施 策) 成果指標 (成果・効果) 単位 子育て支援の充実 (実績) (実績) (実績) 市内外の子育で世帯、企業 対象 人、団体、自治組織 10,000 10,000 ア 来場者数 (基本目標) ひとや企業とのつながりを築く 年度~ 80 80 80 R6 30 30 移住定住者数(補助金制 80 (施策 移住定着拡充プロジェクト 事業期間 1 度利用者) 年度 (年間) 38 53 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) 財国県支出金 千円 228, 250 令和6年度に実施した「第3期志布志市子ども・子育て支 事源その他特定財源 千円 市民のニーズ 援事業計画」の基礎情報として令和5年11月~令和6年3 業内. 書 訳 一般財源 千円 30,000 8,624 228, 250 事業の効果 月に未就学児約1,200人、就学児約1,200人の保護者に対し 事業費計 千円 0 0 8,624 456, 500 30,000 (A) 政策との整合性 てニーズ調査を実施した。「これから志布志市にどのよう 事業を廃止の影響 な子育て支援施設の整備を行ってほしいですか」という設 人 所要人員(年間) 1,000 2,000 1,000 人 類似事業との連携 問に対し、屋内で遊べる施設を優先度1位とする割合が ス 費 人件費概算 (B) 千円 11, 200 0 0 5, 600 5,600 公平性 29.2%、優先度2位は屋内で遊べる施設と屋外の遊具施設 (A) + (B) 千円 0 0 14 224 467, 700 35 600 が同率で22.1%であったことから、事業の有効性は高い。 (2)事業概要 市本庁舎前の立地条件の良い空きビルを活用し、多世代・企業等の交流拠点施設として、また、市民ニーズ 事業効果向上 が高い子育て支援としての屋内遊具施設や居場所、テレワーク環境などを整備することにより、まちの魅力 • 事業費削減 を高め「行ってみたい、住んでみたい、住んで良かったまち」の実現を目指す。 的 事務の効率化 整備費用については、令和7年度末に評価を見極め、その 後の運営については年度ごとに評価していく。 • 費用対効果 事 令和6年度中に庁内利活用検討委員会を中心に基本構想を策定する。同年度中に実施設計を終え、国の交付 財政負担の必要性 業 金等の交付申請により財源を確保する。令和7年度中に建物の改修工事や遊具等の導入を終える他、施設の ・関係者との連携 設置管理条例等を整え、運営事業者を選定した上で、令和8年度中に供用開始する。 容 |令和4年5月に志布志庁舎付近の市街地で娯楽業が閉店となった。その跡地については、市街地の中小に位 必始 置し、本庁舎と隣接していることや、敷地が広く駐車場としての利用を含め、商店街の活性化やまちづくり 推進の上での活用性が高いこと、建物の面積も広く、地域活動を含めた幅広い利活用が考えられることか ち、先行的に取得し、具体的な利活用方法について検討することとなった。 達 • 数値目標 目指す状況 度 • 実現性 令和8年度末に評価を見極める 情勢、環境の変化 令和6年度に庁内利活用検討委員会、庁議を経て「跡地利活用基本構想」を策定済み。同年10月に入札を行 事業期間 い設計委託業者を選定しており、基本構想を基に、設計業者と共に年度内に実施設計を作成する。また、国 状 のデジタル田園都市国家構想交付金(拠点整備タイプ)の交付申請に向けて事前相談を進めている。 況 ○ 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了 令和6年度開始事業のため成果なし 善現在のところ特段の改善案なし 国内の物価高騰や技術者不足により、大型の公共施設整備について、全国的な入札不落が起きている。 題

令和 7 年度 **事務事業マネジメントシート**

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成 (3)指標の推移 担当課 総合政策課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 企業版ふるさと納税推進事業 担当G 政策推進グループ (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 会計 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 2 20 25 25 まちづくりプラン <行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経 1 1 4 5 15 ア企業訪問件数 社 (基本目標) 7 19 Λ (個別目標) 健全な財政運営が推進されるまち 主な費目 手数料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (施 策) 2 歳入の確保 成果指標 (成果・効果) 単位 (実績) (実績) (実績) 対象 企業 10 10 ア寄附件数 (基本目標) ひとや企業とのつながりを築く 件 17 10 11 年度~ R2 (施策 官民連携推進プロジェクト 事業期間 年度(8年間) R9 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算)(計画・予算)(計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 市民のニーズ 業内. | 本| 訳 | 一般財源 千円 166 13, 744 5, 216 4,000 事業の効果 本市が地方創生を進めていく計画として、内閣府より「志 4,000 事業費計 千円 0 166 13,744 5, 216 (A) 政策との整合性 布志市まち・ひと・しごと創生推進計画」の認定をいただ 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0,500 1,000 1,000 1,000 人 いており、有効である 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 0 2,800 5,600 5,600 5,600 公平性 (A) + (B) 千円 0 2,966 19, 344 10, 816 9 600 (2)事業概要 業 事業効果向上 国の地方創生応援税制に則り、企業からの寄附を募ることで、資金の確保や企業との連携を深める。 企業に対しては、本市の地方創生への取組に共感を持って 目 · 事業費削減 いただけるよう各プロジェクトを磨き上げ、全国の企業へ 的 事務の効率化 アプローチするために各種マッチングイベントへの参加や · 費用対効果 事 本市に関わりのある企業を訪問しながら、効率よくPRし 財政負担の必要性 業 ていく。 地方創生に資する取組みに対し、企業からの寄附を募る。 ・関係者との連携 内 容 本市の地方創生を推進するため、令和2年度に内閣府より「志布志市まち・ひと・しこと創生推進計画」の 認定を受けた。「稼ぐ志布志をつくるとともに安心して働けるようにする」「ひとや企業とのつながりを築 く」「結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる」「魅力的で安心して暮らせるまちをつくる」の4つの · 数值目標 基本目標とし、人口減少に歯止めをかけるため、企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)による企業から 成・目指す状況 連携協定締結企業をはじめ、関連企業とのつながりを築 の寄附を原資とした各種事業に取り組む 実現性 き、地域課題の解決に共創していくことで、本市の地方創 評・情勢、環境の変化 生に貢献する。 施 |ホームページでの情報発信に加え、関連企業へのPR活動、マッチングを支援するサイトへの掲載により取 価・事業期間 状 組を行っている。 況 ○ 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了 令和元年度 寄附件数1件 **寄附額 5,000千円** 令和2年度 寄附件数3件 寄附額 2,200千円 令和3年度 寄附件数7件 寄附額77,300千円 令和4年度 寄附件数10件 寄附額 10,900千円 令和5年度 寄附件数11件 寄附額 6,639千円 令和6年度 寄付件数21件 寄付額119,520千円 善現在のところ特段の改善案なし 本市の地域再生計画を基にしたPR体制を整備し、各課と連携し積極的に活用していく。 題